



国民の森林・国有林



今回のセミナーへ参加したフォレスター等のみなさん

尚史氏が「生産コストの算出方法および分析と作業システムの選択・評価・改善」をテーマに、林業におけるイノベーションの意義・方向性や現場における生産コストの把握手法などについて、また、(一社)日本木造住宅産業協会の長谷川賢司氏が「木造軸組工法住宅における国産材利用の実態」

(特別講演)



(一社)日本木造住宅産業協会の長谷川賢司氏



京都大学フィールド科学教育研究センターの長谷川尚史氏

2015年1月15日〜16日の2日間、局大会議室においてフォレスター等活動フォローアップセミナーを開きました。本セミナーは、准フォレスター研修修了者などを対象に、地域で活動する中で新たな課題への対応や知識・技術力向上のフォローアップ(CPD(継続専門教育)の一環)を図ることを目的に開催し、九州各県のフォレスターや一般聴講者も含め約160人が参加しました。

参加者からは、路網開設単価を考慮した作業システムの選択方法や、国産材需要の見通しなどについて熱心な質問があり、フォレスターとして現場での指導や課題の解決、地域における森づくり構想の作成や効率的な生産システム・利用拡大に役立つ内容であったとの感想が寄せ

フォレスター等活動フォローアップセミナーを開催  
九州フォレスター等連絡協議会も同時開催

について、九州地域における住宅部材別の国産材需要動向などについて講演を行いました。



同事務局のみなさん



同時に開かれた九州フォレスター等連絡協議会の様子

られました。  
2日目は、各県などで取り組まれている安定供給対策や森づくりなどに関するトピック的な課題について情報提供を行い、活発な意見交換が行われました。また、セミナー終了後に「九州フォレスター等連絡協議会」が行われ、各機関における取り組み状況の報告、今後の活動方針などについて意見交換が行われました。

(担当)技術普及課



宮崎森林管理署都城支署

山田森林事務所

森林官 原口 隼人

宮崎県都城市山田町の北西部に位置する「稲妻山」標高453・7㍎を紹介します。

稲妻山は、山田町内最高峰の山で、林内は照葉樹林の多様な



稲妻山頂上から高千穂の峰を望む

都城市山田町で最高峰「稲妻山」453・7㍎

植物相が見られ、山頂からは高千穂の峰を間近に望み、眼下には都城盆地一帯の景色を築しむことが出来ます。春には新緑、秋には紅葉など訪れる人に鮮やかな景色を見せてくれるハイキングコースとして、多くの登山者に親しまれている山です。

また、山田町石風呂地区では稲妻山に生育しているケヤキ人工林を「石風呂ケヤキ造林」として、古くから親しんできており、山田町では町の木を「ケヤキ」に指定し、その保存・整備に努めているところでは

九州森林管理局ではこのケヤキ林をふるさとの特徴として保全することを目的に約15㍎を「稲妻郷土の森」保護林として設定し、当時の山田町と保存協定を締結するなど、優れた自然景観の保全と、貴重な森林をより生かしていく整備を行っています。そんな稲妻山へのハイキングコースをひとつご紹介します。

稲妻山頂上から都城市内の眺望



稲妻山山頂へは、石風呂公民館より西方約500㍎の登山入口標識から北の方向へ入り、約2きほど行くと高千穂の峰が展望できる場所に出ます。ここから南面の尾根つたいに林道が走っていますので、車で頂上の真下約150㍎の所にある展望所まで行くことが出来、その登山口からは10分程で山頂に行くことが出来ます。

見晴らしの良い山頂には木製ベンチや展望台も整備されており、見応えのある高千穂の峰の展望を見ることが出来ます。

また、春には桜も楽しめ比較的容易に登れる山として、みなさまもハイキングや森林浴に稲妻山にお越しください。



登山道から稲妻山山頂の様子

鬼の目スギをシカ被害から保護

【宮崎北部森林管理署】当署では「多様な森における森林づくり活動に関する協定書」を締結しているNPO法人「フォレストマントル上鹿川」と森の巨人たち100選に指定されている「鬼の目スギ」をシカ被害から保護するためにシカネット設置を行いました。現地は、「鬼の目山林木遺伝資源保存林」に設定され、下層植生がシカによって被害された箇所では植生の回復を図る目的で行い、設置作業は構成団体や地元のみならず、大学生などのボランティアが参加。現地までは徒歩で2時間以上かかり、資材は全て人肩で運搬しました。今後は宮崎大学の協力で植生調査も継続的に行う予定にしています。



シカネット設置をする関係者＝宮崎北部

# 新任挨拶 どうぞよろしく



まこと 誠  
なかにし 中西

年齢 50歳  
出身地 大阪府  
抱負 九州局での勤務は、約10年前の屋久島森林管

理署、元企画調整室以来になりませんが、今回も着任早々、九州・鹿児島のアツカ人や想いに触れさせていただいております。

公益重視の管理経営の一層の推進を図るため、民有林や地域関係者との連携を一層深め、安全で健康な職場づくりに努めながら、職員のみなさまともに取り組んでまいりますので、よろしく願います。

(担当II総務課)

## 平成26年度第3回 国有林材供給調整検討委員会を開催

用合板を増やす計画としており、原木は出したり出さなかったりではなく、安定的に供給してほ

本年度3回目の「国有林材供給調整検討委員会」を開きました。

今回も各委員がそれぞれの専門分野からの意見を述べ、「現時点で国有林材の供給調整を行うことは要しない」との結果になりました。

委員からは、「原木市場への出材は9月まで少なかったが10、

滝、天狗滝、四十三万滝4ヶ所

があり、夏は気温25度前後で水温は常に14度前後と夏は冷たく、冬は暖かく感じられます。秋の紅葉の時期は「西の奥入瀬川」と言われるほど自然の美しさが

## 「菊池渓谷」を訪ねて

ています。阿蘇くじゅう国立公園内に位置する「菊池渓谷」は、面積が約1200ヘクタールに及ぶ広大な面積を有する国有林です。標高が500〜800mで、名称のとおり、掛幕(かけまぐ)の滝、黎明(れいめい)の

現れます。これからも渓谷の案内という立場で、国有林の自然保護に関わりあって行きたいと思えます。みなさまもぜひ一度菊池渓谷へおいで下さい。

(熊本県在住)

しい。

輸入チップ価格が上がっているため、国産チップを安定的に使っており、調整のために輸入チップを使っている状況。原木の供給調整はC材ではしくく、A、B材あつてのC材である。★カスケード利用のバランスが崩れることが不安である。

スギの製品は国際商品である。関東・関西に向けて九州はヨーロッパより地の利がある。日本の製材工場は世界に負けていない。国産材をどのように供給していくかが課題である。

日本は森林資源大国であり、木材に携わっている人たちは山林所有者も含めて全体が回っていくよう20年先、30年先のことを考えていく必要がある」などの意見が出されました。

★木材を建材などの資材として利用した後、ボードや紙などの利用を経て、最終段階では燃料として利用する

(担当II資源活用課 地域木材情報分析官)

合板は全国的に良くない。九州は需要堅調で、針葉樹型材

ていく必要がある。

九州は需要堅調で、針葉樹型材

合板は全国的に良くない。九州は需要堅調で、針葉樹型材

まぐ)の滝、黎明(れいめい)の



修 出口

私と山との始まりは、8年前に仕事を定年退職し、ブラブラしていたら、九州森林管理局の森林倶楽部員募集を新聞で知り、鏡山(唐津市)、久住山、三角



岳登山に参加して、山登りに夢中になることから始まり、山の自然を守ることに関心を持つようになりました。

現在は、菊池の観光案内人として『菊池渓谷』の案内に携わっ

# 森林技術総合研修所の出張研修

## ドラグショベルを操作し森林作業道作設

2014年度森林技術総合研修所で行う研修として、林野庁林業機械化センターより各局に出向いての研修が計画され、当局においても「森林作業道」および「チェーンソー」関連研修の受け入れを行い、1月21日〜23日の3日間の日程で宮崎森林管理署管内の去川国有林内において森林作業道研修が開かれました。



参加した各署の受講生のみなさん

作して森林作業道作設に取り組みました。

研修生らは、森林作業道作設のプロセスについては十分理解できているものの、ドラグショベルの操作は初めての経験であり、両手で操作レバーを連携しながら操作することに最初は戸

### 衛生講話

## 口は健康の入口

1月20日、局大会議室において熊本市西区役所保健子ども課の歯科医師、木下あや氏と職員のかたがたを講師に招き「お口からつくる健康習慣」と題した衛生講話を開きました。

この講話は、自主健康管理推進月間の行事として、局職員を対象に開いたもので、多数の職員が参加しました。

講話では、まず最初に木下医師から、口は健康の入口であり、口内の健康が体全体の健康につながるため、早めの歯周病治療やブラークコントロールが大切なこと、噛むことの効果や歯磨

きいながらスムーズな動作が出来ませんでしたが、最終日には一定の操作が習熟できるまでにになりました。研修生には、今回の研修での経験を活かし、今後、各事業の現場において事業者などへの指導に役立ててもらいたいと思います。

また、チェーンソー研修も2月17日から3日間の日程で今回と同じエリアにおいて計画されています。

(担当 総務課)



熊本市西区役所職員による衛生講話

きの必要性、タバコが歯周病の最大のリスク要因であることなどについて、具体的な事例を示

しながら話がありました。次に、保健子ども課の講師からは、歯ブラシの選び方や正しい歯の磨き方などについて、模型などを使い、わかりやすく説明がありました。

び方では持参した歯ブラシの形状を確認したりしながら、熱心に講師の話に聞き入っていました。

今回の講話が、職員の口内の健康や体の健康づくりの一助になり、自主健康管理の推進につながれば幸いです。

(担当 総務課)

### 第4回

## 西表島森林生態系保護地域保全管理委員会

当委員会は学識経験者や地元関係者などで構成されており、西表島森林生態系保護地域を拡充した2011年度より、これまで3回開かれており、今回の第4回委員会では事務局より中間取りまとめ(案)を示し議論を行いました。

今後は、委員等からの意見や助言を整理し、本年度中に中間取りまとめを行い、来年度に開催予定の第5回当委員会にて保全管理計画をとりまとめることとしています。

(担当 計画課)

「外来動物の侵入防止策の視点がほしい」との意見や「世界自然遺産登録を見据えて看板や標示板などのデザインを統一できないか」との意見などがありました。

地元竹富町の川満栄町長からは、生態系を守ることは重要であるが、先般の干ばつで、湧水に見舞われており、将来的な干ばつ対策を踏まえ浦内川の上流からの取水が可能となるような内容にしてほしいとの意見もありました。



第4回保全管理委員会の開催模様

【西都児湯森林管理署】第3回「一ツ瀨川流域森林整備連絡会議」が行われ、宮崎県児湯農林振興局や管内市町村の担当者、施業プランナーなど関係者約15人が参加。初日は耳川広域森林組合でタワヤーダを使用した作業システムの検証や日向市東郷町の林産物流通センター、宮崎県林業技術センターでコンテナ苗を視察。翌日は中国木材日向工場を見学し、バイオマス事業などについて説明がありました。今回の研修で耳川流域の取り組みをより深く学ぶことができ、一ツ瀨川流域の森林整備に向け、担当者間の知識の向上と技術普及に努めていくことにしています。



研修先で説明を受ける参加者＝西都児湯

## 2015年度「国有林モニター」募集

林野庁九州森林管理局では、より多くの国民の皆様身近な存在として国有林を感じていただけるよう、森林・林業や国有林に興味を持たれる一般の方々を対象に、国有林の役割や現状等の情報をお知らせし、またご意見をいただく「国有林モニター」を実施しています。

この度、2015年度「国有林モニター」を下記のとおり募集いたします。みなさまからのご応募をお待ちしています。

記

【募集人数】 40～60人程度

【依頼期間】 2015年4月～2016年3月（1年間）

【依頼内容】

- ・ 森林・林業、国有林に関するアンケートへの回答（匿名にて公表することがあります）
- ・ 森林・林業、国有林に関するご意見やご提言などの報告、弊局広報紙への投稿
- ・ 国有林モニター会議への出席（年1～2回、希望者のうち一定数）

※弊局の広報誌など、国有林に関する資料を定期的にお送りします。

【応募資格】

九州・沖縄8県にお住まいの20歳以上（2015年4月1日現在）の方で、森林・林業および国有林に関心を有する方。

※国会及び地方議会の議員、地方公共団体の長及び国家公務員は除きます。

※既に国有林について多くをご存じの方（例：国有林OB、業界関係者、森林林業担当の自治体職員、国有林に陳情等の活動をされた方等）は、お断りさせていただく場合があります。

【応募方法】

下記必要事項をご記入の上、ハガキ、封書、メール又はファックスのいずれかの方法で、以下の宛先までご応募ください。ご不明な点につきましては、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

〒860-0081 熊本市西区京町本丁2番7号 九州森林管理局 企画調整課 国有林モニター担当

TEL：096-328-3511 FAX：096-328-3643 E-mail：ky\_kikaku@rinya.maff.go.jp

【必要事項】

- ・ 氏名（ふりがな）、性別、生年月日、年齢、職業、住所、郵便番号、電話番号、メールアドレス（ございましたら）
- ・ 国有林モニターを知ったきっかけ（具体的に記入）
- ・ 国有林モニターに応募された理由（100字程度）

※ご応募いただいた個人情報、個人情報の保護に関する法律に従い、適正に取り扱います。なお、一度送付いただいた申込書はお返ししませんので、あらかじめご了承ください。

【募集期限】 2015年2月27日（金）（当日消印有効）

【発表】

- ・ 選考結果は、2015年3月下旬頃、依頼状の発送をもってお知らせいたします。
- ・ 依頼状と共に、確認事項と同意書をお送りしますので、署名の上ご返送下さい。

※選考結果に対する個別のお問い合わせにはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先

九州森林管理局 企画調整課 国有林モニター 担当：田中、尾野

TEL：096-328-3511 FAX：096-328-3643

# 構内緑化と地域景観美化を目指して 花とみどりに囲まれた構内緑化コンクールを実施

九州森林管理局では、来庁者をはじめ地元住民に明るく親しみやすい構内環境・気風の創造と職員の結束を図るため、局庁舎周囲の花壇に花の苗を植栽する「花とみどりに囲まれた構内緑化コンクール」を実施しています。



昼休み時間を利用し花の苗を植栽（総務課）

賞・アピール賞3点について表彰を行うことにしています。  
（担当：技術普及課）

**マングローブ 地元説明会開催**  
【西表森林生態保全センター】  
当センターでは、「浦内川および仲良川流域におけるマングローブ林立ち枯れ被害調査」の説明を、観光協会やエコツーリズム



シロダモは三行脈が発達してクスノキ科とすぐに分かります。暖地、特に海の近くに多いとなっていますが熊本では普通に観察できます。

冬芽には黄褐色の毛が密生しヤブニッケイやイヌガシとの区別点になります。この毛は、幼葉には密生していますが、やがて無くなり平滑になります。西表島には、この毛が成葉になってもそのまま残り、「キンショクダモ」の名前になってシロダモと区別されています。

協会を対象に行いました。本調査は、2009年に浦内川や仲良川流域の5箇所でおヒルギの集団立ち枯れが確認され、2010年度から2013年度まで生育状況などの原因調査を行ったものです。これまでの継続調査から立ち枯れの原因が「林内への土砂流入によって発生したとする」調査結果について説明。

参加者からは、「今後もこのような被害が起こるのか」や「健全なマングローブ林とはどのような状態なのか」などの質問がありました。今後、各種調査

## 88 シロダモ (クスノキ科)

父モの名前は、このことから付けられたと思われる、父モはこの類の総称と考えられています。花が咲くのは春でなくて秋に、枝先の葉腋に黄褐色の小花を群がって咲かせ、翌年の秋に真っ赤な果実を付けます。

クスノキ科ですから木全体に精油を含み芳香があります。精油について調べると、過去九州では、シロダモの種子から取った油を「つつつ蝸（ろうろう）」と呼び蝸蝸（ろうそく）を作るのに利用していたそうです。果実が黄色のキミノシロダモもありま



立ち枯れしたマングローブ林＝西表保全センター

について、定期的に地元説明会を行っていきたくと考えています。



昨年未末から1月にかけて発生した鳥インフルエンザで宮崎県、佐賀県の関係者のかたがたには大変なご苦労があったことと思う▼また、熊本県では阿蘇山の活発な噴火による農作物への被害、観光客の減少による観光への影響が新聞などに報じられた▼鳥インフルエンザも火山の噴火も、人の力で発生を止めることは出来ず、被害の拡大を防ぐことが第一の対応策となっている▼国有林で働く私たちも、現場は足場の悪い急な斜面の林内、見通しの悪い林道走行など危険箇所はいたる所に存在し、災害の起る可能性の高い職場となっている▼しかし、噴火などの自然災害と違いそこで起る災害は、人の力で防ぐことが出来る。移動中の足場の確保、周囲の状況確認など、一人ひとりが安全意識をもち業務に取り組み、職場での災害は防げると思う▼今年度は8月から無災害が続いている▼これは職員一人ひとりが高い安全意識をもって業務に取り組んでいることの結果であり、今後も無災害を続けられるよう安全作業に取り組んでいただきたいと思います。（也）